

2021年2月3日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証一部 / 証券コード: 3762)

## C#／VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2020.2」の 販売を開始

静的解析にセキュリティ関連ルール、AI技術を活用したレポート機能の追加

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝、以下「テクマトリックス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft社」）が開発したC#／VB.NET対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2020.2」の販売を2021年2月3日より開始します。

dotTESTは、高品質な.NETアプリケーションの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートするC#／VB.NET対応静的解析・動的解析ツールです。1,000個以上のコーディングルールをもとにソースコードを静的に解析し、プログラムの問題点やファイルを横断した処理フローに潜む検出困難なエラーを検出します。また、.NETアプリケーションの実行中のカバレッジ情報も収集し、テストの抜け漏れを防ぎます。開発工程にdotTESTによる静的解析やカバレッジ情報収集を組み込むことにより、テストの効率化とソースコードの品質向上が期待できます。

このたびのバージョンアップでは、レポート機能にAI技術を活用した分析機能が搭載されました。静的解析機能で検出された問題点をAIが分析し、修正すべき問題の優先順位付けを行うことで、人手による静的解析結果のレビュー時間削減に寄与します。また、静的解析の結果を基にした学習データを随時追加できるため、プロジェクトの特性や運用に応じた優先順位を付けられるようになります。

また、dotTESTでは、以前より、さまざまなセキュリティコンプライアンスに対応したルールが搭載されていますが、今回のバージョンで、セキュリティのルールが多く追加されました。ソフトウェアの脆弱性を識別するための脆弱性の種類（脆弱性タイプ）の共通脆弱性タイプ一覧であるCWE（Common Weakness Enumeration）のver.4.2やCWE Top 25 2020（+On The Cusp）、クレジットカード会員データを安全に取り扱うことを目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準のPCI DSSに対応した静的解析を行うことができます。専用のダッシュボードとウィジェットを利用してdotTESTの静的解析違反の結果をCWEやOWASP、PCI DSSなどの基準のリスクスコアリングにマッピングすることで、各基準と照合したリスクのレベルおよびリスクがある場所を正確に把握できるようになります。dotTESTのレポート機能は、Webブラウザ上でダッシュボード表示によるさまざまな情報提供が可能のため、リモートワーク業務下においてもプロジェクトメンバー間で効率的なソースコードの品質レビューを行える環境を提供します。

環境面では、Visual Studio Code環境のサポートが開始されました。そのほか、.NET Core 3.1で開発されたプロジェクトのサポートやC# 8がサポートされ、Visual Studioとの親和性がさらに向上しました。Visual Studioの作業環境でdotTESTを利用した静的解析やカバレッジ収集の設定、実行、結果参照を違和感なく行えるようになります。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題を解決する最適なツールとして、dotTEST の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

## 【dotTEST 2020.2 の新機能・改善点】

- ・ **PCI DSS や CWE 4.2 といったセキュリティコンプライアンスルールが追加され、静的解析の強化**  
セキュリティ関連を中心に静的解析のルールが追加されました。ソフトウェアの脆弱性を識別するための脆弱性の種類（脆弱性タイプ）の共通脆弱性タイプ一覧である CWE（Common Weakness Enumeration）の ver.4.2 や CWE SANS Top 25 2020（+On the Cusp）、クレジットカード業界の情報セキュリティ基準である PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）などに対応したルールが含まれています。dotTEST 2020.2 は、8 種類のセキュリティコンプライアンスに対応しています。また、セキュリティに関するルールが強化され、14 個のルールが追加されました。

### 【dotTEST のセキュリティコンプライアンスルール】

- ・ CWE 4.2
- ・ CWE SANS Top 25 2020
- ・ CWE SANS Top 25 2020 +On the Cusp
- ・ Microsoft Secure Coding Guidelines
- ・ OWASP Top 10 2017
- ・ PCI DSS 3.2
- ・ Security Assessment
- ・ UL 2900

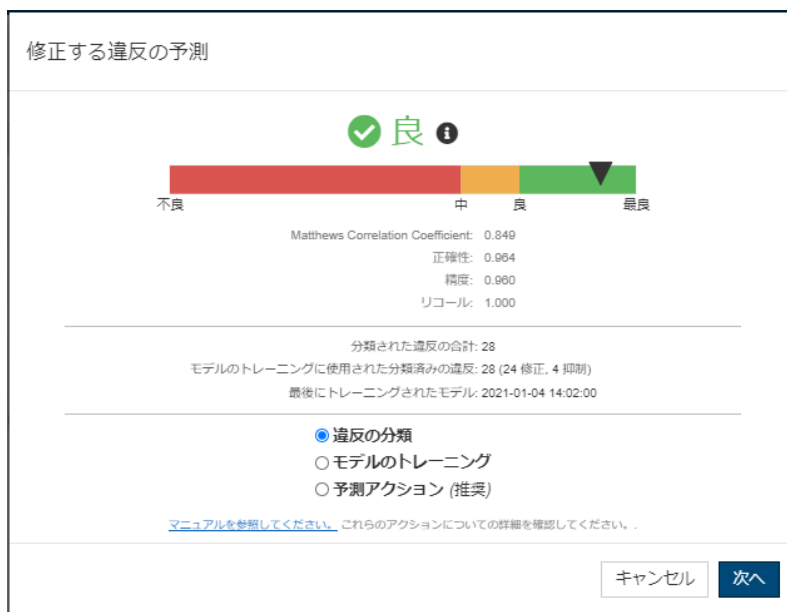
セキュリティコンプライアンスの遵守を促進する「セキュリティコンプライアンスパック」の静的解析ルールを用いてプログラムを解析しルール違反を検出することにより、C#やVB.NETでの開発におけるセキュアコーディングの推進を強力にサポートします。また、解析結果から生成されるコンプライアンスの遵守/逸脱レポートをリアルタイムで参照できます。

※セキュリティコンプライアンスルールによる静的解析および遵守/逸脱レポートの参照には「セキュリティコンプライアンスパック」のライセンス（有償）が必要です。

- ・ **Visual Studio Code への対応**  
Visual Studio Code に専用の dotTEST のプラグインを使用することで、静的解析機能を利用できるようになりました。

## 【Parasoft DTP 2020.2 の新機能・改善点】

- ・ **AI 機能により、静的解析の結果に優先度を付けることが可能に**  
AI 機能によって、登録された静的解析違反を修正すべきかどうかの予測が行えるようになりました。新しい静的解析データに対して、最初に修正する必要がある違反を Parasoft DTP が予測するため、人による仕分け作業が軽減され、違反の修正プロセスがスピードアップします。  
AI 機能は、“修正”および“抑制”として分類された違反を分析し、検出したパターンに基づいて予測モデルを作成します。モデルが作成された後、Parasoft DTP はビルド内のどの違反に修正アクションを割り当てるかを予測します。違反のレビューとアクションの割り当てを続けることで、予測モデルは徐々に改善されていきます。学習データを積み重ねることで、プロジェクト特有の習慣を考慮した予測ができるようになります。



- ・ **コンプライアンスの遵守を促進するパッケージの更新**

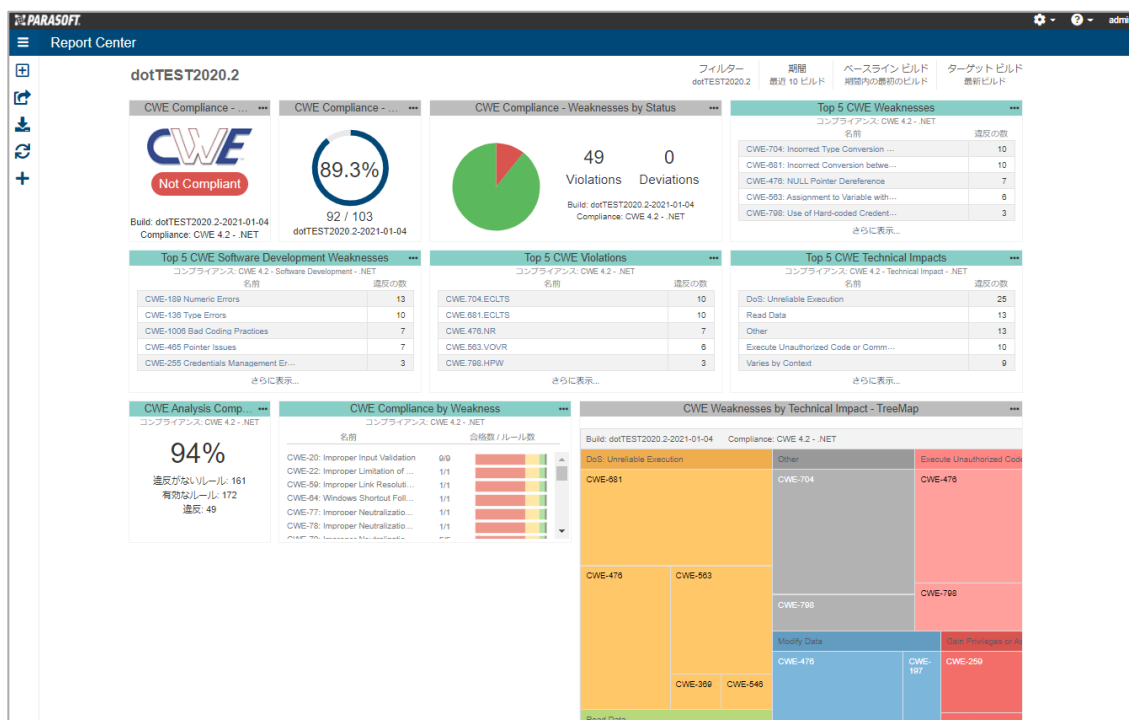
CWE 4.2 や CWE SANS Top 25 2020 (+On the Cusp) がサポートされるようになりました。セキュリティコンプライアンスレポートは、全部で 6 種類のレポート表示と出力ができます。

コンプライアンスパッケージを導入することにより、dotTEST による静的解析の結果から PCI DSS や CWE 4.2、UL2900 に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況の説明責任を果たすことが容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、欠陥のあるソフトウェアに関連するビジネスリスクを排除することが可能になります。また、チームが最大限に効果的に作業できるよう、違反をナビゲートし優先度を設定するための合理的なワークフローを提供します。

※セキュリティコンプライアンス関連機能の使用には専用のライセンス（有償）が必要です。

**【Parasoft DTP のセキュリティコンプライアンスレポート】**

- ・ CWE4.2
- ・ CWE Top 25 2020
- ・ CWE Top 25 2020 + On the Cusp
- ・ OWASP Top 10 2017
- ・ PCI DSS
- ・ UL 2900



CWE4.2 用ダッシュボード

製品の詳細につきましては [web ページ](http://www.techmatrix.co.jp/product/dottest/)をご確認ください。

dotTEST の URL : [www.techmatrix.co.jp/product/dottest/](http://www.techmatrix.co.jp/product/dottest/)

- ・ 販売開始日  
2021年2月3日
- ・ 出荷開始予定日  
2021年2月3日

2021年2月3日において、保守サービスをご契約いただいている dotTEST ユーザー様には、「dotTEST 2020.2」バージョンアップ製品を、無償でご提供します。

## ■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、25年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現

します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト：[www.parasoft.com/](http://www.parasoft.com/) をご参照ください。

## ■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス（東証一部：3762）は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア開発のベストプラクティスを駆使してアプリケーション開発を行なう「アプリケーション・サービス事業」を展開しております。ソフトウェアエンジニアリング分野では、20 年にわたり、ソフトウェア品質向上をサポートする製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供しています。

詳細は Web サイト：[www.techmatrix.co.jp/](http://www.techmatrix.co.jp/) をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング事業部 dotTEST 担当

E-mail：[parasoft-info@techmatrix.co.jp](mailto:parasoft-info@techmatrix.co.jp)

TEL：03-4405-7853

\*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。